

第2回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（小学校・義務教育学校【前期課程】）

第1地区部会 議事要旨

1 日 時 令和5年5月25日（木） 午後2時20分～午後3時30分

2 会 場 大阪市教育センター 研修室5

3 出席者

（委員）

添田委員、西村委員、山口委員、本委員、神山委員

（事務局）

小花首席指導主事、大竹野次席指導主事、松岡総括指導主事、馬場指導主事、
藤田指導主事、土橋指導主事、上田指導主事

4 議 題

（1） 地区部会長の選出について

（2） 調査の観点の重点化について

5 議事要旨

（1） 委員の互選により、本委員が部会長に選出された。

（2） 事務局より、採択地区の現状と課題について説明し、「調査の観点（案）」の重点化に関する方向性を示し、種目ごとに重点についての説明を行い、議論の結果、案の通り了承された。

- ・ 項目1について、③の多文化共生やSDGsに関わる項目については、基本的には重点として選択する。国語と算数はその種目の特性から①と②を重点とする。書写と地図は国語と社会の学習指導要領に準拠することから①を重点とする。
- ・ 項目2について、学習指導要領で示されている「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの力に関わる各教科の目標に関する項目（①、②、③）は全種目において重点とする。
- ・ 項目3について、その種目の特性から地図は②を、保健は④を重点とする。
- ・ 項目4について、生活と道徳は①を、書写・社会・理科・音楽・図画工作・家庭・英語は、児童の実態に即し、2次元コード等から視覚的に訴えることが重要との意味で②を重点とする。

（3） 意見等の概要は以下の通り。

- ・ 二次元コードについては、教科書における構成上の問題だけでなく、二次元コ

ードの中身にも踏み込んで採択するということでよい。また、それも含めて選定するというでよい。

→全種目全ての二次元コードについて中身を網羅するのは困難であるが、リンクがどこにつながっているのか、児童に不利益は生じていないか等可能な限り確認するよう調査会へ伝える。また、構成上の工夫の一つとして重点項目の中の一項目として調査する。

- ・ デジタルコンテンツを使う時には ICT 機器の環境設定も課題である。
- ・ デジタルコンテンツを使うことで、不登校の児童も自宅で学習することができるようになるのはよいことである。
- ・ 保護者が自宅で子どもに教えるときに、初見で見てわかりやすいもの、また、教師にとっても教えやすい教科書がよい。
- ・ 保健では、家庭や地域社会との連携に関する項目を重点とするということだが、現代社会では、「家庭」が多様化しているので、「家庭」と一括りに表現することに、少し心配がある。

→各調査会へ、委員からのご意見として伝えさせていただく。

(4) 今後の流れ

- ・ 決定した調査の観点の重点化について、専門調査会と学校調査会に共有し、調査研究を行う。
- ・ 各調査研究の結果を、次回、7月4日（火）の第3回選定委員会地区部会で審議する。

6 会議資料

(1) 令和6年度使用教科用図書『調査の観点（小学校・義務教育学校【前期課程】用）』